

る体験に焦点を当てる

・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

2. 参加者の基盤を広げる

・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する

・ロータリーへの新しい経路を創り出す

・ロータリーの開放性とアピール力を高める

・活動成果とブランドに対する認知を築く

3. 参加者の積極的なかわりを促す

・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する

・価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する

・個人的/職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する

・リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

4. 適応力を高める

・研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く

・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する

・意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

抽象的な表現もありますが、これらを踏まえて第2620地区の目標を見ると理解が深まるものと思います。当クラブも地区目標を頭に入れて行動していくことが重要であると考えます。

さて、今年度の沼津北RCのテーマは「ロータリーは地域をつなぐ」としました。ロータリーは世界に約35,600クラブ、会員120万人、そのうち日本は約2,270クラブ、会員9万人という巨大な団体ですが、それら一つ一つのクラブが地域とつながり、その結果、日本とつながり、そして世界とつながるということだと思えます。昨年度、分区再編により、子クラブである御殿場・裾野・長泉クラブが同グループとなり、沼津4クラブ含めて、駿東という枠組みができました。早速、観桜会や親睦ゴルフコンペが行われ、これは今年度も継続されると思えます。今後は親睦以外のロータリー活動においても可能性が広がっていくことは間違いありません。そういう意味も含めて、地方の一クラブとしては、まず地域とつながっていきましようということで、今年度のテーマとしました。

さて、沼津北RCは次年度創立60周年を迎えます。それだけでなく、次年度は、静岡第2グループのガバナー補

佐担当年度でもあります。そのため、今年度は、次年度の創立60周年記念事業およびIMの準備が最優先の年度となります。この大きな事業を同じ年度で行ったことは今までに無く、また、過去の周年事業にあたっては、1年以上をかけて準備をしていることから、まず組織作りをし、年度当初より準備をスタートさせる必要があります。

創立50周年記念事業として、2011年に香貫山に植樹をした大漁桜も、地区補助金を利用してながら撫育を続けてきましたが、花をつけるまでの樹に生長し、我々が手を掛けずとも立派に育っていくまでになりましたので、本年度で撫育は終了するつもりです。それにより新たな事業を考える必要があります。それは、5～10年の継続事業として、また創立60周年の記念事業になるべきものであります。どのような事業にするのかを全会員で考えなければなりません。創立60周年に向け、皆様のご協力をお願いいたします。

また、米山梅吉記念館も今年創立50周年を迎え、記念式典が9月14日に開催されます。記念式典の開催及び記念館改修費用等の支援として地区目標(3,000円/人×3年)が提示されましたが、当クラブと記念館との深い関わりにより、目標以上の支援協力をしていくことが前年度の理事会で承認されております。当日の記念式典は、移動例会とし、全員で参加をしたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

エンドポリオについては、1979年にフィリピンで行われて以来、これまで122か国、20億人以上の子供たちへポリオの予防接種を支援してきました。わずか60円のワクチンで一人の子供を生涯ポリオから守ることができます。今年度も昨年度と同じく沼津4RC合同での募金活動を計画しておりますので、ポリオプラスへの寄付と合わせご協力をお願いいたします。

インターアクトでは、8月5日～8月8日にかけて、韓国錦城女子高校が沼津中央高校を訪問し交流を行います。青少年奉仕の一環として、ロータリーとしても交流プログラムのお手伝いをする予定でおりますので、ご協力をお願いいたします。

ロータリー活動は皆様のご協力なしにはできません。会員が活動しやすくするのが会長の務めであるとも言われております。微力ではありますが、馬場幹事と共に頑張りますので、どうぞ1年間、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。